

ムノツィル・ブラス スピンオフ!



ヴィーダー, ガンシュ & パウル

全曲即興!
偶然こそ最高の
物語を作り上げる

Japan
Premiere

お問合せ・主催 フロ アルテ ムジケ ALTE MUSIK
03(3943)6677 info@proarte.jp



©www.lukasbeck.com

YouTube 再生回数合計10万回以上!
ブラス楽器から楽譜と練習とジャンルを取り払うと?
完全な自由を得たブラスはいったいどこへ行くのか?
ムノツィル・ブラスで勇名を馳せたトーマス・ガンシュたちに
その答えを聞いてみよう

トーマス・ガンシュ | トランペット / フリューゲルホルン / ヴォーカル
Thomas Gansch - Trompete, Flügelhorn, Gesang
レオンハルト・パウル | トロンボーン / バストランペット / ヴォーカル
Leonhard Paul - Posaune, Basstrompete, Gesang
アルベルト・ヴィーダー | テューバ
Albert Wieder - Tuba

3.17 19:00
18:30 開場
東京 火

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 ☎03(5541)8710

全席指定 一般 7,000円
U15 1,000円



電子チケット PRO ARTEKET

teket.jp/98/59442

3.19 19:00
18:30 開場
大阪 木

ザ・フェニックスホール

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 ☎06(6363)0311

全席指定 一般 6,000円
U15 1,000円



ホール友の会会員 5,400円

*ザ・フェニックスホールのみでの取扱い

ザ・フェニックスホールチケットセンター

06(6363)7999 (平日10:00~17:00)

協賛 / あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

3.20 15:00
14:30 開場
横浜 金(祝)

関内ホール 小ホール

YOKOHAMA KANNAI HALL 関内ホール共催
〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1 ☎045(662)1221

全席指定 一般 6,000円
U15 1,000円



teket.jp/98/59447

【関内ホールチケットカウンター】

045(662)8411 (営業時間: 10時~18時・休館日を除く)

※窓口販売、電話予約後引取り、代引き発送販売

チケット取扱

プロアルテムジケ
e+(イープラス)

03(3943)6677
eplus.jp/

www.proarte.jp

チケットぴあ t.pia.jp/

コード[313-502] (3公演共通)

トーマス・ガンシュいわく 「偶然が最高の物語を作り上げる」

プラス楽器が、楽譜から、ジャンルから、約束事から解放されたらどうなるのか？ ムノツィル・プラスで勇名を馳せたトーマス・ガンシュ(トランペット)、レオンハルト・パウル(トロンボーン)、アルベルト・ヴィーダー(テューバ)なら、その答えを知っているかもしれない。

このトリオ結成のきっかけは、2015年ヴィーダーのムノツィル・プラス「Yes, Yes, Yes!」での代奏だった。ツアーでは毎日、公演の最後にアンコールを演奏した。彼らの好きなように、即興で、ほとんど打ち合わせなしでステージに戻り、最高の“コミュニケーション”をした。

やがて、彼ら3人が持つ世界を融合させ、ありとあらゆる趣味の音楽を詰め込んだ、夢のようなトリオ・プログラムが出来上がった。

それはシューベルト、J. シュトラウス、マンシーニからビリー・ジョエルなどなど。

彼らには、ベース、メロディー、ハーモニー、それだけで十分だ。名前だって「ガンシュ、パウル・アンド・ヴィーダー」で十分だ！ ちょうど「アース、ウィンド・アンド・ファイヤー」のように。

そこには、ジャズでもないプラスでもない、クラシックでもプログレでもない。でも、自由と対話と、無限の音楽がある！

2020年アマデウス・アワードのジャズ／ワールド／ブルース部門にノミネート。

トーマス・ガンシュ

Thomas Gansch

1975年ザンクト・ペルテンで生まれ、父ヨハン・ガンシュからトランペットを学んだ。15歳でウィーンに渡り、音楽・舞台芸術大学でトランペットを学ぶ。在学中の1992年、学生仲間とともに若干19歳でムノツィル・プラスを結成。クラシックを6年間学んだ後、1997年に卒業を決意し、大好きなジャズに転向した。1998年から2006年まで、彼は伝説的なウィーン・アート・オーケストラで演奏し、今でもそれを「本当の」学生時代だと語っている。世界中のミュージシャンとの数え切れないほどのコラボレーションや、50カ国近くでの演奏活動に加え、ムノツィル・プラスの他にも様々なアンサンブルのために作曲を行っている。トーマス・ガンシュは、同世代で最も多才なトランペット奏者のひとりであるだけでなく、常に冗談を口にしながらも音楽を見失うことのない、根っからのエンターテイナーでもある。

アルベルト・ヴィーダー

Albert Wieder

トロンボーン奏者であった父からテューバを習う。14歳でグラーツ音楽大学オーパーシュッツェン分校のヨーゼフ・マイヤー・ホーファーのクラスに入学し、1999年まで同校の準学生として学ぶ。この頃すでに、ユディ・メニューインのもとでのソロ・コンサート、グラーツ大学オーケストラ・オーベルシュッツェンとの共演を行う。2007年まで同校で器楽・音楽教育学とコンサート科目としてのテューバを学ぶ。2000年、19歳でウィーン国立歌劇場管弦楽団のテューバ奏者、2006年よりウィーン・トロンボーン・アンサンブルのメンバーとなる。2015年から2017年まで、一時的にムノツィル・プラスで活躍し、アルバム《Yes, Yes, Yes!》がきっかけでトリオが結成される。2012年、ヨーゼフ・ハイドン音楽院のテューバ科教授に就任。

レオンハルト・パウル

Leonhard Paul

ウィーン生まれ。1986年から音楽・舞台芸術大学でトロンボーンの器楽教育学を学び、優秀な成績で教授資格試験に合格。1989年から1993年まで同大学でトロンボーンを学び、1993年10月に優秀な成績で卒業。1990年から1994年までウィーン音楽院でジャズ・トロンボーンをエーリッヒ・クラインシュスターに師事。ここでも1994年7月にディプロマ試験に優秀な成績で合格した。ムノツィル・プラスの共同創設者でもあり、作曲・編曲を手がけ、トロンボーン、バス・トランペットなどを演奏している。1992年と1993年から2005年まで、ミュルツシュラクとトゥルンの音楽学校で教鞭をとり、2005年からはウィーン国立音楽大学で金管室内楽とバロック・トロンボーン、ポピュラー音楽を中心としたトロンボーンの教鞭をとっている。2019年、ヨーゼフ・ハイドン室内楽・新音楽研究所の所長に就任。ムノツィル・プラスでは演奏はさることながら、影のある役柄で人気を博している。